

第一問 解答例

問一

- | | | | | |
|--------|------|------|---------|------|
| ① 譲歩 | ② 周縁 | ③ 餓死 | ④ 捉（える） | ⑤ 眼前 |
| ⑥ 鑑（み） | ⑦ 空転 | ⑧ 凝視 | ⑨ 回帰 | ⑩ 比重 |

問二

「自由」は「肅々と進行している自然現象」とは反対概念であるのに、「自由」を理解しようとする、「自由」を対象として客観的に見て、ある意味自然現象として位置づける必要が生じること。（89字）

問三

「私」こそが「第一原因」として、行為を引き起こす意志を生じさせているのだが、意志を発動させるための自由が必要だとすると、私と意志が自由によってどのように関係づけられるのか説明できないということ。（97字）

問四

能動的に思い浮かべたいろいろな判断材料について、さらに能動的に「理性」を働かせて比較したり結論を出したりすること、「考え」が浮かぶ前から浮かんだ後の状態に遷移させる過程。（86字）

問五

「自分の頭で考える」時、能動的な精神的行為の自由さや意志を働かせるために必要な自由意志など、あらゆるところに「自由」が顔を出し、「自由」のわからなさに悩む筆者にとって「考える」こと自体もわからない行為となり、自動的には考えられなくなるから。（120字）

第二問 解答例

問一 ア (一)「文法的説明」心苦しく(シク活用形容詞「心苦し」連用形)・なん(強意の係助詞「なん」)

(二)「動作主体」語り手

イ (一)「文法的説明」参り(ラ行四段活用動詞「参る」連用形)・給は(尊敬の補助動詞「給ふ」未然形)

ず(打消の助動詞「ず」連用形)

(二)「動作主体」中納言

問二 (一)「貝なし」と、むくわれない意味の「かい(甲斐)なし」との掛詞が用いられている。

(二) むくわれない恋のために、袖が涙でぬれて朽ち果てるほど嘆いている様子。(参考 三十四字)

問三 a 中納言のために病氣治癒を祈る。

b 中宮のために無事の出産(安産)を祈る。

問四 中納言の青ざめた様子について、中將は物の怪によるものかと考えて石山寺などに参籠することを提案したが、中納言は

妹への恋が原因で自分の命ももう尽きるため、祈りは効果がないと考えているから。(参考 九十二字)

問五 以前は恋する妹が中宮となったため物思いにふけていたが、その後、妹が子供を出産したため、いよいよ何事も手につ

かない状態。(参考 六十字)

第三問 解答例

問一 ① おいて ② にわかに（にはかに） ③ なお（なほ） ④ くゆ

問二 「こんな小僧も参政なのか」と言つて呂蒙正を侮つた者の官職と姓名を問ひたださせた。

問三 すなわち（すなはち） しゅうしん また わするゐる あたわず（あたはず）、

問四 「書き下し」もとより しる なきに しかざる なり。

「現代語訳」 もともと知らないでおくに越したことはない。

問五 自分を侮つた者の姓名を問ひたださなくても何ら損にはならない、として不問に付した呂蒙正の度量。

第四問 解答例

問一 人間が処理できる情報量には限度があるため、インターネット上にあふれる膨大な情報のなかから、各自の認知資源を振り向ける対象を選ぶのと同時に、無視する対象を選ぶ決断を必ず迫られるから。(90字)

問二 人間の思考過程を、自動的・直観的にすばやく判断する「速い思考」と意識的に時間をかけて論理的な推論などを行う「遅い思考」の二つに分け、両者が連携して外部から受容する情報を処理していると見なす理論モデル。(100字)

問三 アテンションに最適化したアルゴリズムが「速い思考」や「認知バイアス」といった人間の心理特性と結びつき、真偽を問わずユーザーにとって「心地よい」情報だけが選別される情報環境の構築を助長するような関係。(99字)

問四 金儲けのためにアテンションを集めようとする人が増え、そのなかから、人々の怒りや不安をあおる情報や虚偽情報を含むコンテンツを投稿してまで「インプレッション稼ぎ」をはかる行動をとる人も現れた。(94字)